

金沢市内で健康関連施設の開業が相次いでいる。市南部では30日、24時間営業のフィットネスクラブがオープンする。金沢駅西で4月、医療とフィットネスの複合施設が開業しており、老舗ボウリング場の跡地では健康がテーマの複合商業施設が建設される見通しになっている。健康志向の高まりで、成長分野とみて異業種が参入する動きもあり、競争は激化しそうだ。

フィットネス 競争激化



健康ブーム照準

不動産業や住宅建設の「さくらホームグループ」（金沢市）が、フランチャイズ（FC）店として運営するのは「エニタイムフィットネス金沢有松店」。24時間営業、年中無休を売りにするエニタイムフィットネスの石川県内1号店で、

月会費は6800円。国内200店以上の店舗は会員の9割近くが20〜40代と若く、同グループはこれまで時間や予算の制約で利用しにくくてもできなかった層を取り込めるとみている。金沢有松店は店舗面積460平方メートルの小型店で、年内に金沢市大桑3丁目、野々市市三納3丁目にも新店を構える。さくらホームグループの地渡政彦代表は21日の内覧会で「いずれ住宅市場は縮小する。フィットネス運営を経営の柱の一つに育てたい。早いうちに10店ほどに増やす」と語った。

医療法人社団ホスピールグループ（魚

さくらホームグループが運営するフィットネスクラブ

金沢市有松3丁目

不動産業が24時間店 金沢駅西に複合施設

津市）は4月、金沢市広岡3丁目に医療とフィットネスの複合施設「浦田クリニック／スコール金沢」を開

業した。現在の会員数は約1600人。総務省の2014年の「経済センサス」によると、石川のフィットネスクラブ事業所数は09年と比べると、14増の46事業所となっている。

一方、北陸鉄道（金沢市）が手掛ける同市泉本町7丁目のボウリング場「ジャンボホール」と隣接するゴルフ練習場の営業終了後、跡

地の再開発は健康をテーマとした複合商業施設を軸に検討されている。協力事業者には北陸ミサワホーム（金沢市）、ミサワホーム（東京）が選ばれた。関係者からは「いくら健康ブームといっても人口は減少しており、施設が増えすぎれば、会員の奪い合いになる」との見方も出ている。

※北國新聞2017.6.22掲載